

ナイジェリア

2022年11月30日

海外調査部・ラゴス事務所

2021年のナイジェリア経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から回復し、実質GDP成長率が3.4%となった。貿易は、輸出入額ともに堅調な伸び率を示したが、輸入が輸出の伸びを上回り、2年連続で貿易赤字となった。対内投資は、全体の約半分を占める金融セクターの落ち込みにより、前年比30.6%減の67億100万ドルとなった。

■非鉱業分野により成長が加速

ナイジェリア国家統計局によると、2021年の実質GDP成長率は3.4%で、前年のマイナス1.9%から回復に転じた。渡航制限の緩和、ロックダウンの解除、政府による景気刺激策などが功を奏した。特に非鉱業分野が成長を加速させ、金融・保険は前年の成長率9.4%を上回る10.1%を記録した。また、情報通信は3年連続のプラス成長となる6.5%を記録した。一方、産油量減少によって鉱業は、2020年第2四半期以降、マイナス成長が続いている。2021年は、原油価格は回復したものの、南部のナイジェラデルタ地域におけるパイプラインの破壊や原油の盗難など、運用上の問題が業績悪化の原因となっている。ナイジェリア石油会社（NNPC）によると、盗難されている原油の量は2021年で日量平均約20万バレルに達している。ムハンマド・ブハリ政権は2021年8月、石油・ガス産業における透明性確保と財政健全化を目指して、20年以上当事者間で利害関係の調整や議論が続いていた石油産業法（PIA）を発効させた。税金やロイヤルティー率を引き下げるなど、国内外からの投資を呼び込みたい考えだ。

■貿易赤字は前年より拡大

ナイジェリア国家統計局によると、2021年の輸出額は前年比51.0%増の18兆9,078億ナイラとなった。一方、輸入額は20兆8,440億ナイラと64.1%増加し、貿易収支は1兆9,362億ナイラの貿易赤字となった。輸出を商品別にみると、原油価格の回復と石油需要増を受け、最大の構成比を占める原油が14兆4,108億ナイラで前年比52.6%増と大きく増加した。輸出先国別では、原油の主要輸出先であるインド（構成比15.2%）、スペイン（13.7%）、フランス（8.4%）が上位3カ国を占めた。

ナイジェリアは外貨収入を原油の輸出に大きく依存する一方、食料品やガソリンなどの消費財の多くを輸入に頼っている。輸入品目別で金額が最大だったのはガソリンを含む鉱物性生産品で、前年比2.2倍の6兆5,630億ナイラだった。輸出と同様、原油価格回復および石油需要増によりもたらされた結果といえる。また、日量計44万5,000バレルの精製能力を持つ国内3カ所の製油所は、メンテナンス不足のため2022年11月時点で全て稼働を停止しており、産油国にもかかわらず、ガソリンをはじめとする石油製品のほとんどを輸入に依存している状況が続いている。次に多かったのは機械・電気

機器・同関連品で、4兆1,952億ナイラだった。

輸入元国別では、中国（構成比27.8%）、ベルギー（10.3%）、インド（7.2%）が上位3カ国だった。

表1 ナイジェリアの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ナイラ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2020年		2021年		2020年		2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
鉱物性生産品	11,120,986	16,910,119	89.4	52.1	機械・電気機器・同関連品	3,029,166	4,195,175	20.1	38.5
原油	9,444,656	14,410,769	76.2	52.6	鉱物性生産品	2,965,202	6,563,003	31.5	121.3
液化天然ガス	1,407,179	1,975,359	10.4	40.4	輸送機器・同関連品	1,149,412	1,555,881	7.5	35.4
プロパン	29,428	58,444	0.3	98.6	化学工業製品	1,456,618	1,799,433	8.6	23.5
ブタン	7,371	24,466	0.1	231.9	植物性生産品	749,387	1,351,406	6.5	80.3
輸送機器・同関連品	841,997	654,167	3.5	△ 22.3	単金属・同製品	672,497	1,060,164	5.1	57.6
植物性生産品	189,914	259,305	1.4	36.5	プラスチック・ゴム製品	609,211	1,161,273	5.6	90.6
加工食品・飲料品	169,269	345,302	1.8	104.0	加工食品・飲料品	594,083	903,477	4.3	52.1
化学工業製品	78,969	405,879	2.1	414.0	動物性生産品	454,519	551,226	2.6	21.3
単金属・同製品	35,617	152,238	0.8	327.4	木材パルプ・同製品	51,500	59,340	0.3	15.2
プラスチック・ゴム製品	10,604	44,635	0.2	320.9	精密機器・同関連品	1,296	1,288	0.0	△ 0.6
合計 (その他含む)	12,522,684	18,907,789	100.0	51.0	合計 (その他含む)	12,700,944	20,843,965	100.0	64.1

(出所) ナイジェリア国家統計局

■日本への輸出はLNGが引き続き好調

財務省貿易統計によると、日本のナイジェリアからの輸入は前年比10.2%増の7億5,927万ドルだった。構成比の約7割を占める液化天然ガス (LNG) は9.3%増の5億2,495万ドルだった。前年に61.4%増と回復に転じたLNGが引き続き対日輸出を引っ張るかたちとなった。

日本からの輸出は前年比0.8%増の2億8,733万ドルだった。構成比の最も大きい自動車やバス・トラックなどの輸送用機器は7.7%減の7,524万ドルだった。

表2 日本の対ナイジェリア主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：1,000ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2020年		2021年		2020年		2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
輸送用機器	81,492	75,239	26.2	△ 7.7	鉱物性燃料	490,960	524,949	69.1	6.9
自動車	51,880	47,969	16.7	△ 7.5	液化天然ガス	480,148	524,949	69.1	9.3
乗用車	17,560	7,506	2.6	△ 57.3	揮発油	10,813	0	0.0	全減
バス・トラック	22,884	30,354	10.6	32.6	原材料	122,073	96,003	12.6	△ 21.4
自動車の部分品	20,959	17,545	6.1	△ 16.3	原料別製品	73,871	137,226	18.1	85.8
二輪自動車	7,088	7,935	2.8	11.9	非鉄金属	72,034	137,181	18.1	90.4
原料品	38,710	50,352	17.5	30.1	非金属鉱物製品	1,805	29	0.0	△ 98.4
一般機械	35,246	45,878	16.0	30.2	食料品	393	703	0.1	78.9
原料別製品	64,109	41,114	14.3	△ 35.9	魚介類	123	302	0.0	145.5
鉄鋼	52,150	29,496	10.3	△ 43.4	野菜	14	51	0.0	264.3
食料品	18,540	30,423	10.6	64.1	一般機械	7	48	0.0	585.7
化学製品	30,118	25,601	8.9	△ 15.0					
プラスチック	5,985	11,602	4.0	93.9					
医薬品	20,759	4,571	1.6	△ 78.0					
合計 (その他含む)	285,183	287,334	100.0	0.8	合計 (その他含む)	688,739	759,267	100.0	10.2

(出所) 財務省貿易統計

■対内投資は回復基調

ナイジェリア国家統計局によると、2021年の対内投資額（直接投資、ポートフォリオ投資、その他投資含む）は67億100万ドルで、前年比30.6%減だった。投資額の約半分を占める金融セクター（銀行、株式投資、ファイナンス）は、33億3,900万ドルとなり、55.5%減となった。

主要企業の動きとして、国内財閥大手のダンゴテ・グループがラゴス郊外のレッキに建設を進めていた肥料工場が2021年、稼働した。この工場は、同グループが建設中の製油所と同敷地内に建設されたもので、500ヘクタールの敷地と、年間300万トンの生産能力を有し、肥料工場として世界2位の規模を誇る。建設費は25億ドルとされる。同じくダンゴテ・グループが仏自動車製造のステランティス

(プジョー) と提携する Dangote Peugeot Automobiles Nigeria Limited は2021年、北部カドゥナ州でプジョー車の組立工場を稼働した。120人の技術者を擁し、数種類のプジョー車を組み立てている。また、NNPC、Nigerian Content Development & Monitoring Board (NCDMB)、DSV Engineering Limited の出資で設立された Brass Fertilizer & Petrochemical Company Limited は2021年1月、ナイジェリア初のメタノールプラント建設に対する36億ドルの投資を発表した。2025年に稼働し、年間350万トンのメタノールを生産予定だ。なお、2022年7月には、石油公社だったNNPCが株式会社化され、NNPC Limitedとして発足した。政府としては、石油産業を強化したい考えだ。

第2期ブハリ政権も終盤を迎え (2019年5月に2期目就任、任期は4年)、政府はインフラ整備を急ピッチで進めている。2021年6月には、中国の支援を受けてラゴスとオヨ州の州都イバダンを結ぶ157キロの標準軌鉄道が完工し、運航を開始した。また2022年3月には、ラゴス国際空港の第2ターミナルが完成し、主に近距離国際線用のターミナルとして運用されている。

在ナイジェリア日系企業の動きとしては、双日がアフリカ特化ファンドのヘリオス・インベストメントから、ガス小売大手のアクセラの株式20%を取得した。将来的には再生可能エネルギーやLNGの取引にも参入したい考えだ。サントリー食品インターナショナルは、清涼飲料の製造・販売事業を2022年4月、モーリシャスの Africa FMCG Distribution Ltd. に売却すると発表した。同社は「ルコゼード」や「リベナ」などのブランドで知名度が高い。ホンダは、地場農機ディストリビューターなどと提携し、耕運機などパワープロダクツの事業展開に参入した。

スタートアップ投資も引き続き活発だ。モバイル決済プラットフォームを提供するオーペイ (OPay) がシリーズCラウンド¹で4億ドル、ソフトウェア開発者の育成やグローバル企業とのマッチングを支援するアンデラがシリーズEラウンドで2億ドルを資金調達した。いずれもソフトバンクグループ傘下のソフトバンク・ビジョン・ファンド2 (SVF2) がリードインベスターを務めた。日系ベンチャーキャピタル (VC) の Kepple Africa Ventures は、2022年2月に地場VC大手 Verod Capital Management との合弁会社 Verod-Kepple Africa Ventures を設立し、新たなファンドを運営。豊田通商の完全子会社である仏系総合商社のCFAOは、スタートアップのMooveと提携し、配車サービスのUberやBoltドライバーに対して、スズキ車へのファイナンスを提供するサービスを開始。ラゴス市内では急速に利用が広がっている。

表3 ナイジェリアの業種別対内直接投資<フロー>
(単位: 100万ドル、%)

	2020年	2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率
金融	7,498	3,339	49.8	△ 55.5
銀行	3,751	1,461	21.8	△ 61.1
株式投資	1,852	1,094	16.3	△ 40.9
ファイナンス	1,894	784	11.7	△ 58.6
製造業	914	934	13.9	2.2
なめし	0	646	9.6	全増
流通	288	588	8.8	104.2
農業	301	366	5.5	21.7
電力	13	327	4.9	2,510.4
マーケティング	2	212	3.2	12,114.4
通信	417	107	1.6	△ 74.3
石油・ガス	54	102	1.5	90.3
漁業	7	38	0.6	461.0
サービス	68	15	0.2	△ 77.7
掘削	0	15	0.2	48,380.4
ITサービス	21	6	0.1	△ 70.6
コンサルティング	3	3	0.0	7.2
建設	22	2	0.0	△ 92.6
運輸	19	0.05	0.0	△ 99.7
合計 (その他含む)	9,656	6,701	100.0	△ 30.6

[注] 直接投資、ポートフォリオ投資、その他投資含む。
[出所] ナイジェリア国家統計局

¹ スタートアップ企業において、ベンチャーキャピタルなどが出資する段階で、一般的に以下のように分類される。シード: 創業前の段階。シリーズA: 商品のプロトタイプを作成し、ビジネスモデルを確立する段階。シリーズB: 事業が軌道に乗り始め、収益が出始める段階。シリーズC: 経営が安定する段階。シリーズD以降: 収益が安定的で、IPOやM&Aなどイグジットを検討する段階。

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：2億1,140万人（2021年）			
②面積：92万3,769km ²			
③1人当たりGDP：2,089米ドル （2021年）			
④実質GDP成長率（%）	2.3	△ 1.9	3.4
⑤消費者物価上昇率（%）	11.4	13.2	17.0
⑥失業率（%）	n.a.	33.3	n.a.
⑦貿易収支（100万米ドル）	2,868	△ 16,402	△ 3,246
⑧経常収支（100万米ドル）	△ 13,685	△ 15,986	△ 1,849
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	38,336	36,730	40,521
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	27,676	33,348	38,391
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ナイラ、期中平均）	306.9	358.8	399.1

〔注〕①③：推計値、⑦⑧：暫定値、⑦：国際収支ベース（財のみ）
 〔出所〕①：世界銀行、③：IMF、②④⑤⑥：ナイジェリア国家統計局、⑦⑧⑨⑩⑪：ナイジェリア中央銀行、⑩：ナイジェリア債務管理局

（お問い合わせ先）

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp